

国語科学習指導案

単元名：

うみのかくれんぼ

(全6時間扱い中 第5時)

授業日時 2019年10月21日(木) 第2校時

授業学級 1年2組

授業会場 1年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

うみのかくれんぼ名人について知った子どもたちが、自分の調べた生き物の隠れ方を伝える場面で、今までの授業内容や実習生のいきものずかんの手本から、捕まえた時の状況や本で調べたことを整理しながら、生き物図鑑の一ページを完成させる活動を通して、自分の言葉とイラストで生き物の隠れ方をクラスのみんに伝えることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導	1. 前回の振り返り	・教室を歩き回っている。 ・スライドに興味を示す	【スライド・ICT】 「今からクイズ出すよ～よく見てね！」と促す ※全員が静かになるのを待つ ※作ってきた図鑑を黒板に貼る。	5
	【学習問題】 いきものずかんをどのように書こうかな？			5
	2. お手本の提示	「この動物知ってるー」 「私はこれをやるよ」	「なにがどこにどのように隠れているのかかくよー」と促す。	
	【学習課題】 なにが、どこに、どのように隠れているか、書いてみよう。			
開	3. 図鑑づくり	「先生！私はこの動物を書くんだよ」 「絵描いたよ！見て！」 「絵がうまく書けない！」 「あの子の絵が上手だよ」 「なんの生き物にするのか決まらない！」 「どのようにってどういうこと？」 ・書き方がわからず、歩き回っている子どもがいる。 ・面白いアイディアを見せる 「先生見て！もうできたよ！」 「二枚目やりたーい！！」	【プリント・表紙・目次・色鉛筆・スライド】 ※机の上に参考の本・色鉛筆を出させる ※書けていない子に提案をする 「〇〇さんのずかん素敵だね」と伝える 「どのように隠れていたかな？」と問う 「どのように隠れていたか、見つけた時のことを思い出そう！」と促す。 ※参考になる本を何個か前においておく ※参考になる子どもの作品を周りに紹介する ※2枚目をやりたい子どもはやらせてもらう。 「もうそろそろ時間になるよ」と終わりを促す。	20
		【本時の評価(評価する対象)】 自分の言葉とイラストで生き物の隠れ方や伝えたいことを伝えることができる。		
終	4. 発表	「先生まだやりたーい」 「みんなのも見たーい」 「先生私のことさして！！」 ・前の図鑑に集まる。うろうろしている ・製本した本を見ている。	【ファイル・拡大機・ipad】 何人かの児童に発表してもらおう ※発表者のプリントを写真に撮って前に映す。 「製本をするから班ごとに紙を集めてね」「郵便さん持っておいで」と促す。 ※静かになるのを待つ	10